

次世代を担う若者との意見交換について

目次

	ページ
1 ecoN ながさきの紹介	1～6
2 アンケート結果の報告	7～22

《参考資料》

長崎市のこれまでの取組み

econながさき

設立の目的

将来、気候変動をはじめとした環境問題の影響に直面する次世代の若者や学生が、自分事として長崎市の環境問題について主体的に理解を深め、議論し合い、率先して活動を行うことを目的として設立

構成メンバー

大学生：約 15 名 高校生：約 16 名 中学生：5 名

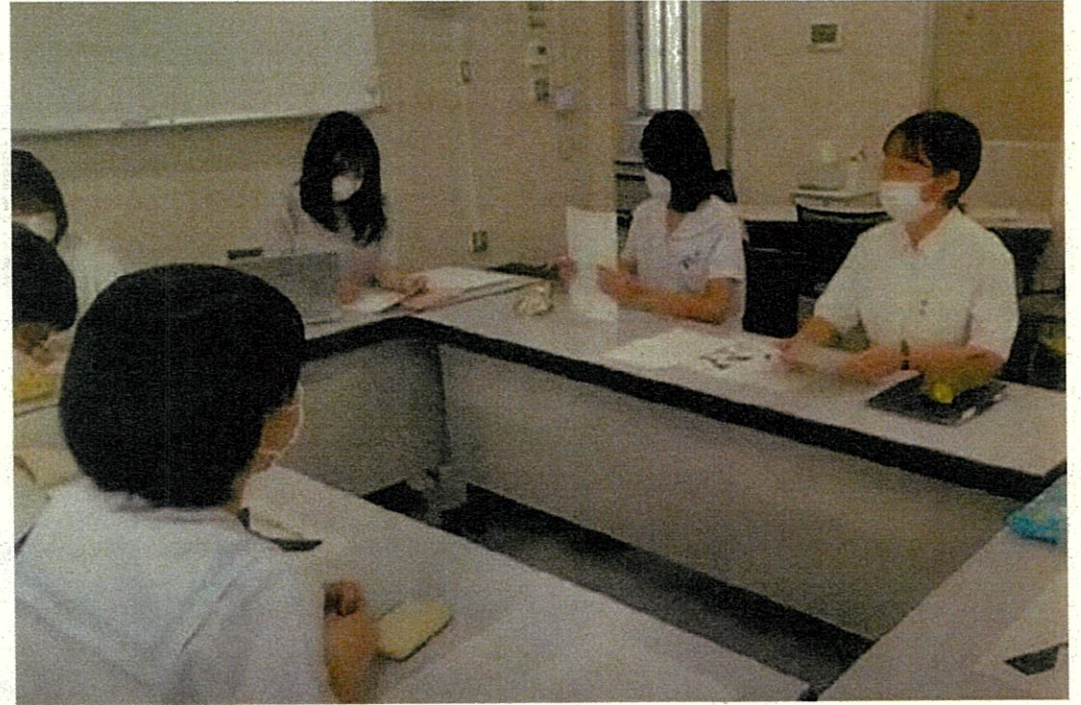
2021年8月～ 市民連携フォーラムに向けた会議を始めました。

【動機】

令和3年3月17日

長崎市は、時津町、長与町と同時に『ゼロカーボンシティ』を宣言しました。

私たち学生が長崎市の地球温暖化について主体的に理解を深め、議論し合い、若者からの意見を市議会議員の方々へ伝え、意見を頂きたいと考えました。



2021年11月14日 市民連携フォーラムの開催(長崎市議会議場)

【参加者】

長崎市長 田上 富久様

市議会議員の皆様(8名)

長崎市環境部の皆様

サステナプラザながさきの皆様

長崎大学・長崎総合科学大学

海星中学高等学校・長崎県立

鶴洋高等学校・茂木中学校・

東長崎中学校の学生



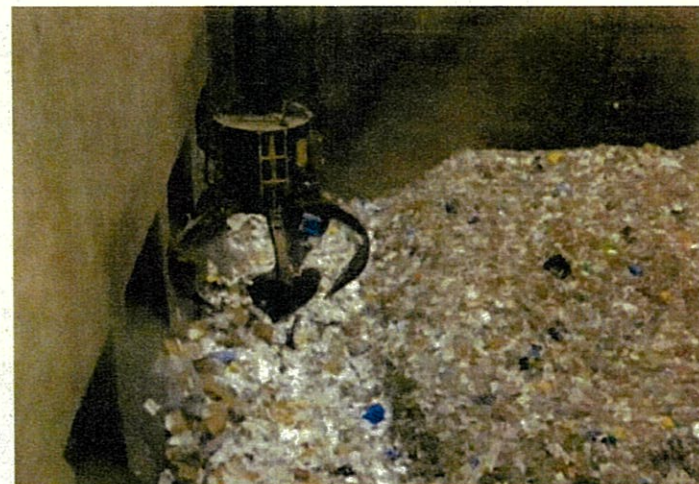
- ①市議自身に取り組んでほしいこと
- ②子供・若者向けに市議に働きかけてほしいこと
- ③長崎市(行政)に対する要望

※市民連携フォーラムを通して、私たちの知識が不十分であること、実際に行動を起こすことなどのいくつかの方針を得ることができました。

2022年3月26日 長崎西工場(施設見学会)

環境に対する工夫

- ①蒸気タービン発電設備
- ②排ガス中の有害物質の除去



2022年5月4日 株式会社水産未来研究所

環境に対する工夫

- ①外部からの病原菌の侵入を防ぐ仕組みにより、抗生剤等の薬品を使用しなくても良い
- ②外界へ排水しない。(循環型)
- ③大規模な機材が必要ない(経済的)



■小学生への環境教育活動（伝える活動）

ecoNながさきの活動の中で、私たちが得た知識をより分かりやすい形で小学生に伝える活動を行っていかうと考えています。

実施形態：三次元紙芝居、クイズなど



ecoNながさき報告書

アンケート実施目的

- **高校生・大学生の気候変動対策に対しての意識を明確にしていく**
- **長崎市の気候変動対策の認知度の把握**
- **どういった方法で市民の環境への意識を高めていくか模索する**

アンケートの設問

- 1-1. 気候変動問題に対してどの程度危機感を持っていますか？
 - 1-2. 具体的に、気候変動のどのような部分に危機感を感じますか？
- 2. カーボンニュートラルという言葉を知っていますか？
- 3. 長崎市がゼロカーボンシティ宣言をしたことを知っていますか？
- 4. 長崎市の地球温暖化防止対策実行計画を知っていますか？
- 5. 長崎市の温室効果ガスの削減目標を知っていますか？

- **6. どこで気候変動についての情報を得ていますか？**
- **7. 長崎市が行なっている「エコライフフェスタ」を知っていますか？**
- **8. 気候変動問題に対して何か心がけていること・行動に移していることはありますか？**
- **9. 長崎市の気候変動対策について感じている事があれば記入して下さい。**

アンケート結果概要

長崎市内の高校と大学にアンケート調査の協力を依頼

高校は5校、大学は3校回答

総回答数 1,085回答

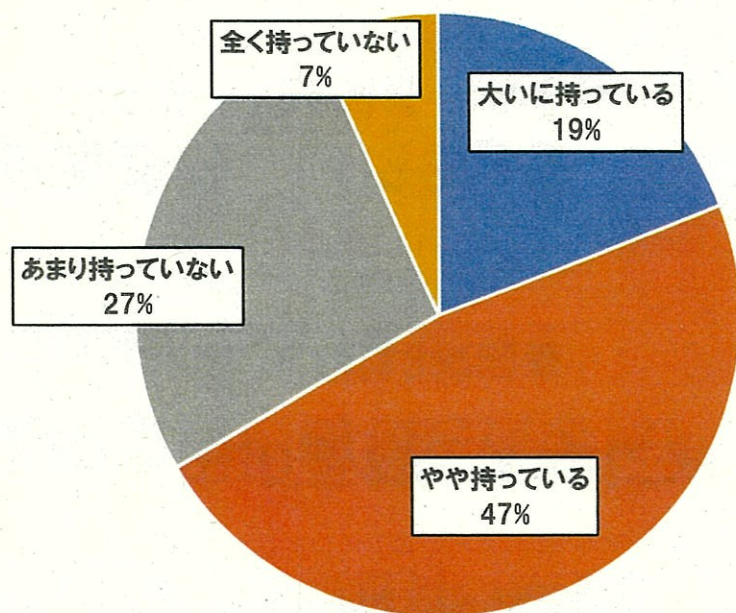
高校生…792回答 大学生…293回答

Q1.気候変動問題に対してどの程度危機感を持っていますか

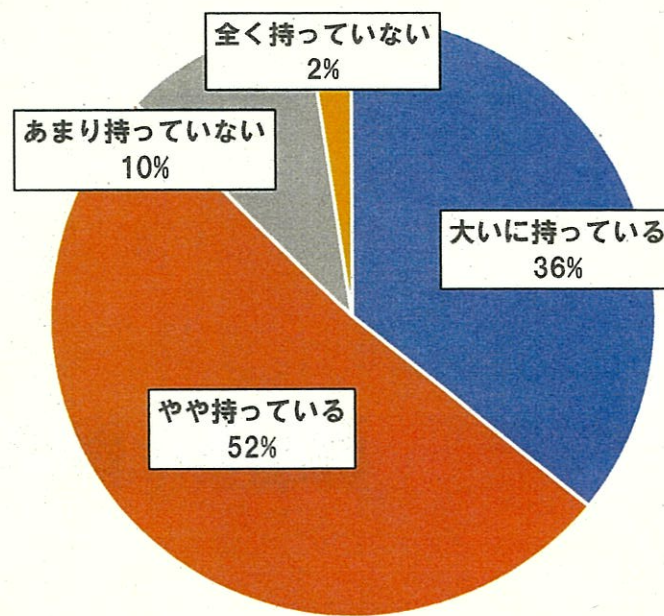
高校生・大学生の過半数以上は気候変動に対して危機意識を持っている。

■ 気候変動問題に触れる機会が多い大学生がより危機意識を持つようになっていると考えられる。

→環境変動問題に対して触れる機会を増やしていくと、より市民全体の環境への意識が深まるのではない
か



高校生

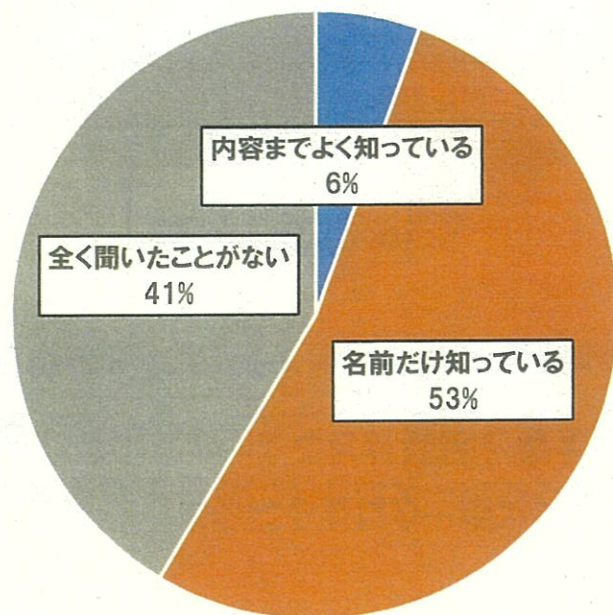


大学生

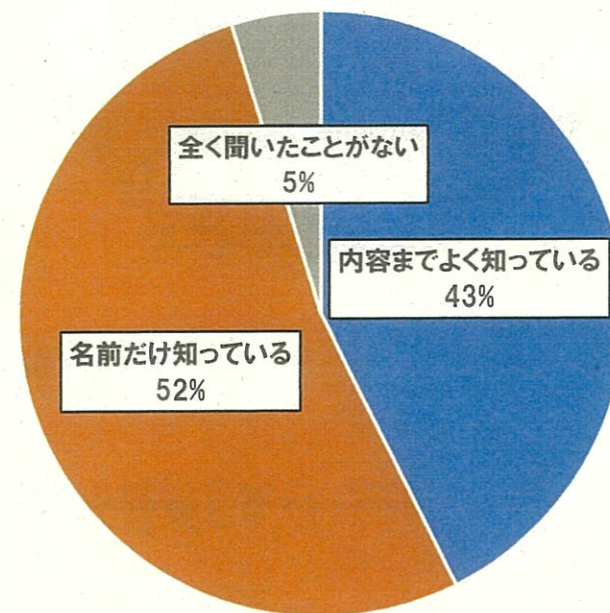
Q2.カーボンニュートラルという言葉を知っていますか

カーボンニュートラルという名前を聞いたことがある人は過半数以上いる。内容を認知している人は高校生は非常に少ないが、大学生になると4割程度が認知している。

- カーボンニュートラルは世界的な動きで、大企業も取り組みを広告で出しているため認知度が高いと考えられる
→長崎市内の企業にも協力してもらい広報することで、長崎市内の取り組みの認知度を上げれるのでは



高校生



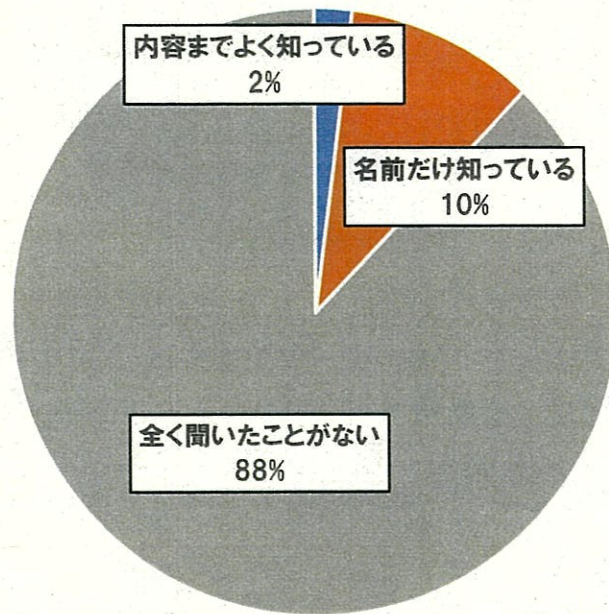
大学生

Q3.長崎市がゼロカーボンシティ宣言をしたことを知っていますか？

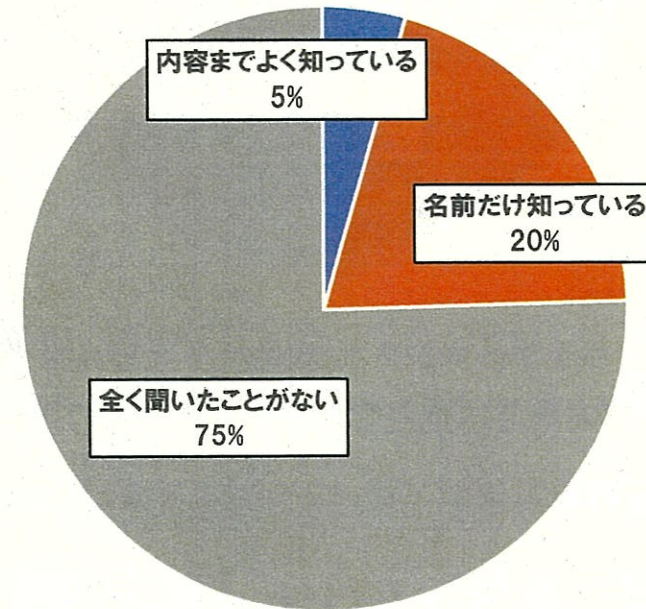
高校生、大学生どちらにもゼロカーボンシティ宣言がされたことについて認識されていない。

■ 知る機会が少なかったことが要因と考えられる

→より効果的に広報できる手段を模索していく必要があるのではないか



高校生



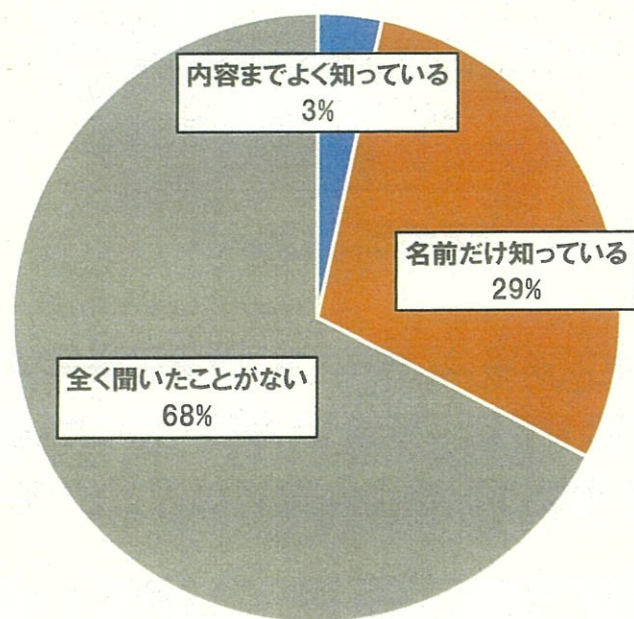
大学生

Q4.長崎市の地球温暖化防止対策実行計画を知っていますか？

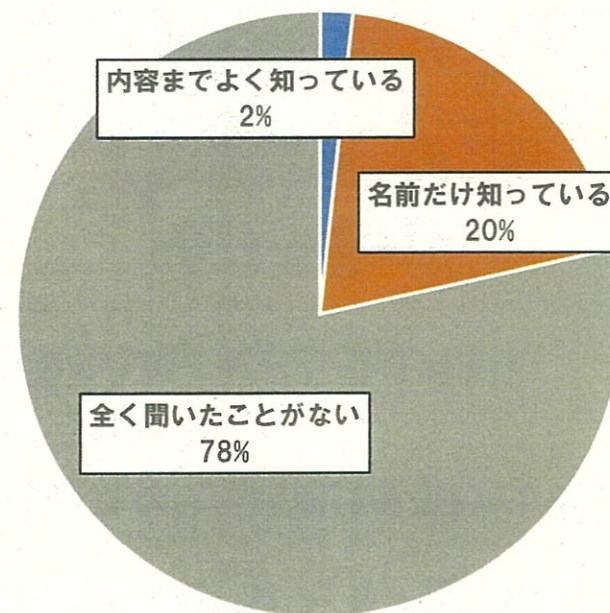
長崎市の地球温暖化防止対策実行計画の内容まで認知している割合は非常に低い

- 地球温暖化防止対策実行計画は普段の生活の中で触れる機会が少なく、内容も少し難しい事が要因と考えられる

→内容を分かりやすい形で発信していき、普段の生活の中で触れる機会を増やせるようにしていく



高校生



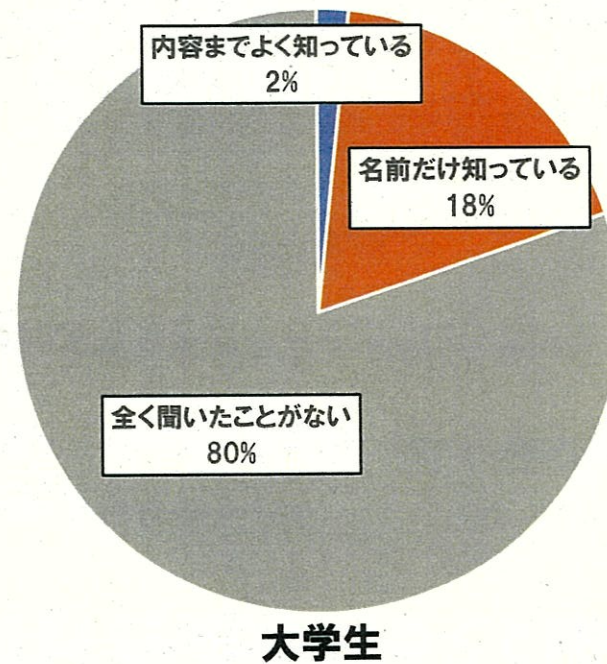
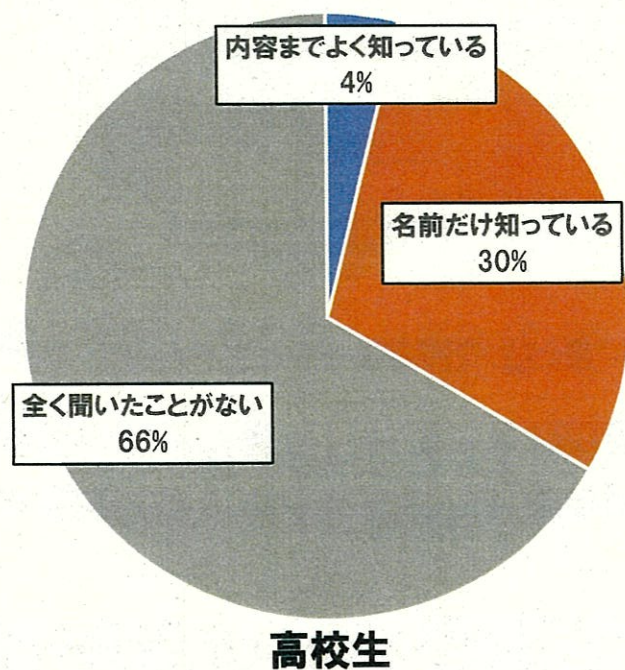
大学生

Q5.長崎市の温室効果ガスの削減目標を知っていますか？

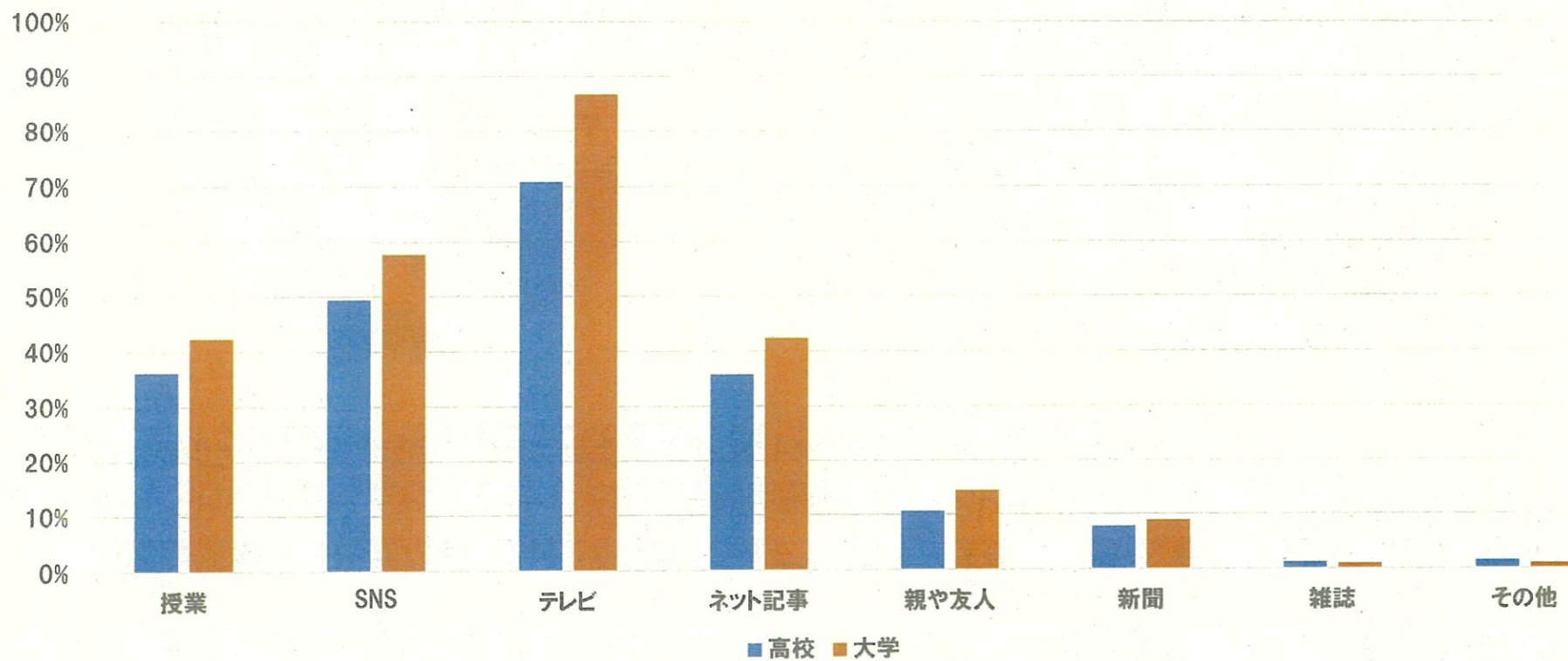
温室効果ガスの削減目標を設定している事は2~3割知られているが具体的な数値は浸透していない

■市の目標について触れる機会が限られてしまうことが要因と考えられる

→市の対策目標について普段の生活の中で触れる機会、学ぶ機会を増やせるようにしていく



Q6. どこで気候変動についての情報を得ていますか

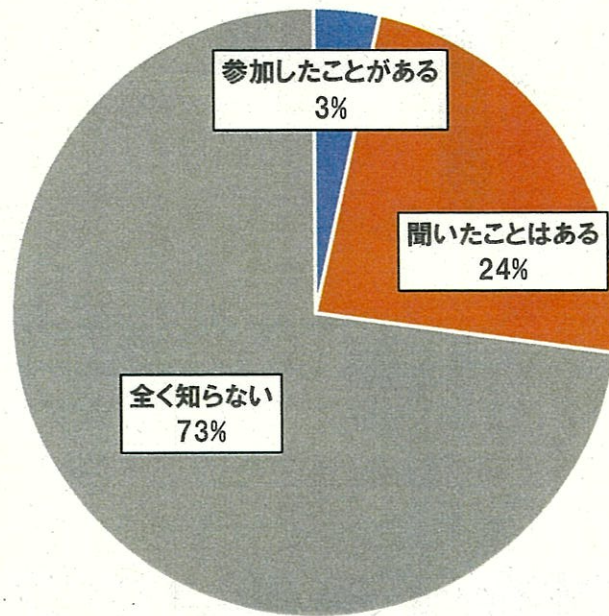


Q7.長崎市が行っている「エコライフフェスタ」を知っていますか

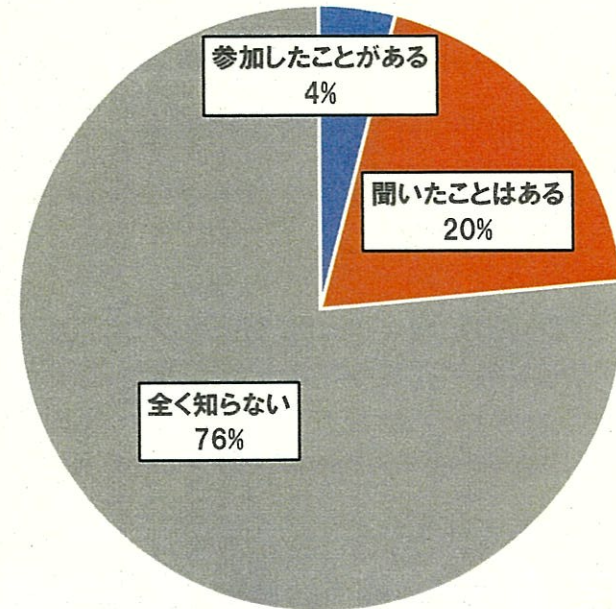
市民の環境活動への参加のきっかけとなるエコライフフェスタが認知度が低く、参加した割合が非常に低い

■ イベントとして魅力的なものにしていく事で参加する割合を増やしていけるのではないかと考えられる

→エコライフフェスタの在り方について模索していくと良いのではないかと

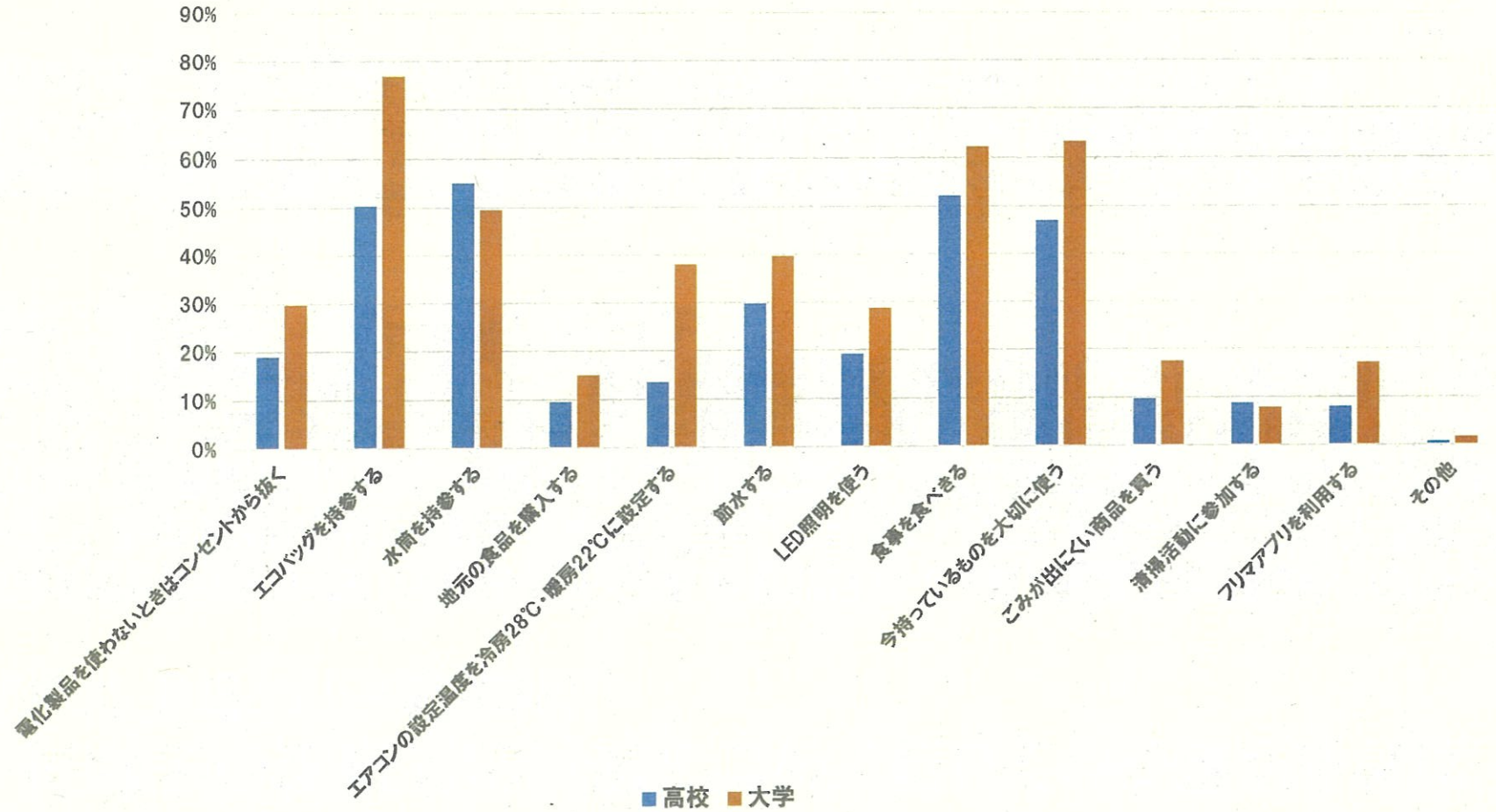


高校生



大学生

Q8. 気候変動問題に対して何か心がけていること・行動に移していることはありますか



Q9. 長崎市の気候変動対策について感じている事があれば記入して下さい(一部抜粋)

- 他の都市が実施しているから自分達もやるではなく、気候変動対策のトップランナーになる決意を行政と議会が本気で示してほしい。これは私見ですが年齢の高い方ほど気候変動に関心が低いように感じます。特に各政党、各議員が気候変動に対してどのような考えを持って、行政に何を求めて実行していくのか？SNS等を使って情報公開してほしい。更に計画だけではなくPDCAをしっかりと回し、検証と修正結果をきちんと公開してほしい。
- 長崎市の気候変動対策の具体的な取り組みの記載が少ないことや、数値目標やそのための取り組みが曖昧なことが気になる。市民への環境教育や意識形成のためにも、もっと具体的に打ち出して宣伝した方が良いのではないか。

Q9. 長崎市の気候変動対策について感じている事があれば 記入して下さい(一部抜粋)

- **よく情報を得る媒体では、長崎市の気候変動対策だけが取り上げられていることが少ないです。日常の中で目にする機会が増えたら良いと思います。**
- **若者にも関心を持ってもらえるような取り組みにしたり、そうでなくても積極的に呼びかけたりして認知度を上げる必要がある。**
- **市民への周知、行動の具体化が足りていない。目標は高いが、実現可能性において劣っている。**

協議会を行うにあたって

- 市民生活を「日常生活」「教育」「イベント」の3つの領域に区分
→生活の中で気候変動問題について知る・考える・実践する、またそのきっかけとなる領域として設定
- それぞれの領域の中でいかに市民全体の環境意識を上げ、行動に移してもらうかを協議

【参考資料】

長崎市のこれまでの取組み

1 イベント

(1) ながさきエコライフ・フェスタ、ながさきエコライフ・ウィーク

平成 22 年度から環境にあまり興味がない市民にも気軽に来場してもらえるイベントとして、「ながさきエコライフ・フェスタ」を開催し、環境問題について考え、環境行動を実践するきっかけづくりとしている。



エコライフ・フェスタ 2019

「ながさきエコライフ・フェスタ」において環境問題や環境行動について関心を持った市民が、その後 1 週間家庭、職場、学校、地域など様々な場所で環境行動を実践する週間として「ながさきエコライフ・ウィーク」を設けている。

具体的には、家庭、職場、学校それぞれの場所で取組みやすい内容の環境行動をチェック項目としてあげ、各々でどのくらい取り組めたかの確認をしてもらい、その後の生活の中でも環境行動を実践し続けていただけるような意識付けを図るもの。

年度	エコライフ・フェスタ			エコライフ・ウィーク	
	来場者数	出展団体数	CO2削減効果	参加者数	CO2削減効果
H22	37,000人	54団体	31.8 t	49,000人	238.7 t
H23	38,000人	61団体	19.8 t	57,000人	199.7 t
H24	40,000人	59団体	19.6 t	56,200人	215.0 t
H25	39,000人	55団体	19.6 t	60,800人	214.7 t
H26	40,000人	61団体	24.0 t	67,700人	289.6 t
H27	42,000人	66団体	23.5 t	65,800人	355.3 t
H28	35,000人	63団体	18.9 t	65,500人	310.5 t
H29	中止	64団体	—	62,500人	261.6 t
H30	53,000人 (2日間)	56団体	26.4 t	62,200人	262.4 t
R1	62,000人 (2日間)	62団体	31.0 t	61,000人	314.5 t
R2	1,000人 (2日間)	34団体	0.5 t	12,000人	76.3 t
R3	2,600人 (2日間)	38団体	0.5 t	39,900人	178.8 t

2 教育

(1) ながさきエコスクール

地域清掃や省エネ活動などの継続した環境活動に取り組む学校を「ながさきエコスクール」として認定。平成 28 年度までには、市内の全小中学校を「ながさきエコスクール」として認定している。

さらに、市内の全小中学校は、地域や学校の特色を活かした学校独自の環境活動を宣言する「エコ宣言」を行い、市民ネットワーク「ながさきエコネット」に参加している。

(2) ながさきサステナスクール支援事業

市民ネットワーク「ながさきエコネット」に参加している市内の小学校において、環境活動団体と連携した環境学習を行う。

平成 27 年度から平成 28 年度にかけて、各学校 3 万円を限度として、環境活動に資する経費の支援を行った。

平成 29 年度から令和元年度は、さらに学校の活動の特色を顕在化する取組みとして、地域や環境活動団体と連携を行い、特色ある環境活動を計画し、実践する意欲のある学校を募り、支援を行っている。応募のあった学校においては審査を行い、審査を経て採択された学校に対しては活動推進に必要な支援として、各学校 30 万円、5 校までを限度に経費の支援を行った。

令和 2 年度から「環境団体との連携による ESD (※) 講座」を実施中。

※ E S D Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

3 日常生活

(1) 環境行動の推進役としてのサステナプラザながさき

市民主体の環境活動の拠点として、平成 28 年 4 月に地球温暖化対策の推進に関する法律第 38 条に基づく「長崎市地球温暖化防止活動推進センター (サステナプラザながさき)」を平成 28 年 4 月に開設した。

リユース自転車、フードドライブ、市民向け環境講座 (サステなひろば)、長崎市地球温暖化防止活動推進員による出前講座、温室効果ガス排出に大きな影響を与える事業者 (家電、自動車、住宅等) と連携し、消費者 (市民) の環境配慮に関する啓発活動を実施している。



(2) 広報ながさきを利用した啓発活動

ア 令和4年6月号の折込チラシでゼロカーボンシティについて周知を行った。

ゼロカーボンシティって何？

「ゼロカーボンシティ」とは、2050年までに
二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す自治体のことです。

長崎市は、令和3年3月17日に「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言しました！
わたしたちが暮らす地球は今、地球温暖化とそれに伴う気候変動の影響により最大級の危機に直面しています。
地球温暖化を防止し、こうした状況を打開するためには、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする
必要があるとされており、長崎も、「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言しました。
「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって更に実効性のある取組みを加速
させていきます。

みんなできそう！ みんな知ってる？
ゼロカーボンシティ長崎 “ゼロカーボン”

～未来へON～

わたしたちの暮らしからは、石炭や石油等燃やして
電気を作ったり、自動車を使ったりすると、地球
の気温を上昇させる温室効果ガスが空気中にどんど
ん排出され、地球温暖化の大きな原因になっています。
わたしたちが住む長崎市でも、暑い日の増加や大雨
台風の上昇など、地球温暖化の影響をうかがわせる
気候の変化が現れています。
また、世界の国々を中心とした長期的な気候目標
は定期的に新しく、2020年6月に締結されたパリ協定
（目標の41.1℃が記録される等、殊死的な努力に
迫っています。
これを防ぐためには、2050年までに二酸化炭素排
出を実質ゼロにすることが必要とされており、地
球温暖化の影響を可能な限り抑えるため、「ゼロカー
ボンシティ」の実現がとて重要で、
みなさんも、できることから取り組んで、「ゼロカー
ボンシティ長崎」をめざしましょう！



「ゼロカーボン」とは、温室効果ガスの「排出量」
から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、
実質的な排出量をゼロとすることを意味します。
※「ゼロカーボン」＝「カーボン（＝炭素）」を「実質ゼロ」にす
ること。

わたしたちに何ができる？
毎日の暮らしのなかで、「ゼロカーボン」をめざすため、
できることからON（スタート）しよう！

- < 節電 > 夏などはテレビなど使っていない電気製品の電源を切るか、コンセントからプラグを抜こう。
- < 節水 > 冷蔵庫は、あまり食品などを詰めすぎず、扉を開けている時間を短くしよう。
- < 節湯 > お風呂の残り湯は、洗濯や水やりなどに利用しよう。
- < 買い物 > お気に入りのバッグを持って買い物に行き、レジ袋は断ろう。
- < 買い物 > 必要な分だけ作り、食残しを減らす。食品ロスを減らそう。
- < 車 > 外出するときは徒歩や自転車、公共交通機関を利用しよう。



ここで紹介しているのは、ほんの一部。
みんなが生活のどこかで「ゼロカーボン」のために関わることができるか考えてみよう。

気象庁による気象予報情報では、これまで以上の対策が取られなかった場合、21世紀末までに約4度上昇し、今後、自然災害等の頻発化・激甚化などが予測されるんだった！

広報ながさき 6月号折込チラシ

イ 節電対策に関する記事の広報ながさきへの掲載を毎年7月に行っている。

上手な省エネの方法

ゼロカーボンシティ推進室 ☎829-1251

電気使用量が最も多くなりがちな夏。効果的な節電の方法を紹介します。
自宅で過ごす時間が多い今、ぜひチャレンジしてみませんか？

電気料金の年間削減額と省エネの方法

【エアコン】約1,330円の節約

・夏の冷房時の室温は28℃に

・エアコンは必要な時だけ付ける

※換気や体調に注意して、無理のない範囲で節電を！

【照明】約2,430円の節約

・白熱電球からLEDランプに交換する

【冷蔵庫】約1,620円の節約

・ものを詰め込みすぎない

・無駄な開閉はしない、開けている時間を短く

【テレビ】約450円の節約

・見ないときは消す

【温水洗浄便座】約2,020円の節約

・使わないときはふたを閉める

・暖房便座、洗浄水の温度を低めに

※削減額は目安です

(出典)

経済産業省ホームページ「家庭向け

省エネ関連情報 無理のない省エネ

節約」



広報ながさき 7月号